

# 令和4年度 第1回板橋グリーンカレッジ運営協議会次第

日時：令和4年7月13日 14時から

場所：グリーンカレッジホール 教室2

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 議長選出
- 4 副議長選出
- 5 報告事項
  - (1) 令和4年度受講状況について（資料2）  
高齢者大学校  
板橋グリーンカレッジ大学院
  - (2) 令和4年度後期カリキュラムについて（資料3）
  - (3) 専門課程文化文学コース第2回講義について
- 6 協議事項  
今後の板橋グリーンカレッジのあり方について
- 7 閉会

---

## 配布資料

- 資料1 板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿
- 資料2 令和4年度板橋グリーンカレッジ受講状況
- 資料3 令和4年度後期板橋グリーンカレッジ講義概要
- 参考資料 板橋グリーンカレッジ運営協議会要綱

## 板橋グリーンカレッジ運営協議会委員委嘱名簿

○ 任期 令和4年6月1日から令和6年5月31日まで

	役 職	氏 名	委員就任年月日
再任	淑徳大学人文学部教授	森田 喜久男	平成26年6月1日～
再任	東京家政大学准教授	松岡 洋子	平成26年6月1日～
再任	大東文化大学教授	河野 芳英	令和2年6月1日～
再任	東京都健康長寿医療センター研究所 研究員	西 真理子	平成30年6月1日～
再任	板橋グリーンカレッジOB会会長	加山 義信	令和3年5月25日～
公募	区民代表	森河 欣治	令和4年6月1日～
公募	区民代表	岩佐 静子	令和4年6月1日～
区職員	板橋区教育委員会事務局 地域教育力担当部長	湯本 隆	令和4年6月1日～ (充て職につき)

## 令和4年度板橋グリーンカレッジ 受講状況

## 1 高齢者大学校

		平成6年度	7	8	9	10	11	12	13	14	15
課程数等		教養課程 1 専門課程 3 社会生活科 健康福祉科 文化科	教養 2 専門 3 社会 健康 文化	教養 1 専門 4 社会 健康 文化 文学	教養 1 専門 4 社会 健康 文化 文学	教養 1 専門 4 社会 健康 文化 文学	教養 2 専門 4 社会 健康 文化 文学	教養 2 専門 4 社会 健康 文化 文学	教養 2 専門 4 社会 健康 文化 文学	教養 2 専門 4 社会 健康 文化 文学	教養 2 専門 4 社会 健康 文化 文学
新規入学	募集定員 (①)	300名	150名	160名	160名	160名	320名	320名	320名	320名	320名
	応募者数 (②)	291名	190名	337名	302名	421名	379名	209名	305名	284名	291名
	入学決定者数 (教養課程 の人数) (③)	291名	164名	165名	160名	180名	366名	206名	304名	284名	291名
専門課程進級者数 (専門課程の人数) (④)			225名	128名	128名	137名	150名	289名	164名	234名	226名
受講者数 (教養課程+専門課程) (⑤=③+④)		291名	389名	293名	288名	317名	516名	495名	468名	518名	517名
年度末 卒業者数 (⑥)			202名	118名	105名	122名	141名	264名	160名	224名	220名
年度末 累計卒業者数			202名	320名	425名	547名	688名	952名	1112名	1336名	1556名
聴講生数 (⑦)				117名	81名	90名	100名	119名	208名	117名	163名
総受講者数 (教養課程+専門課程 +聴講生) (⑧=③+④+⑦)		291名	389名	410名	369名	407名	616名	614名	676名	635名	680名

※平成6年度の新規入学者のうち半数(150名)は同年度に教養課程を受講し、平成7年度に専門課程を受講。

他の半数(150名)は、平成6年度に専門課程を受講し、平成7年に教養課程を受講した。

※平成7年度の教養課程は、平成6年度入学生と平成7年度入学生の2クラスで実施した。

※平成7年度から同10年度までは、新入生の応募が定員を上回ったため、抽選により入学者を決定した。

※平成8年度より、専門課程の科目を1つ(文学科)増やした。

※平成11年度より、教養課程を午前コースと午後コースの2クラスに分けた。

いずれのクラスも講座の内容は同一とする。

※平成19年度の教養課程は、午前コースのみ1クラスで実施した。

※平成19・20・21年度(専門課程6月26日まで)は教育科学館(仮教室)で実施した。

		平成16年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25
課程数等		教養課程 2	教養 2	教養 2	教養 1	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2
		専門課程 4	専門 4	専門 4	専門 4	専門 4	専門 4	専門 4	専門 4	専門 4	専門 4
		社会生活科	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会	社会
		健康福祉科	健康	健康	健康	健康	健康	健康	健康	健康	健康
		文化科	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化	文化
		文学科	文学	文学	文学	文学	文学	文学	文学	文学	文学
新規入学	募集定員 ①	320名	320名	240名	80名	180名	300名	300名	300名	300名	300名
	応募者数 ②	264名	298名	267名	282名	283名	253名	261名	256名	189名	217名
	入学決定者数 (教養課程の人数) ③	264名	298名	267名	88名	180名	245名	250名	252名	184名	212名
専門課程進級者数 (専門課程の人数) ④	211名	216名	244名	205名	75名	155名	216名	207名	219名	161名	
受講者数 (教養課程+専門課程) ⑤=③+④	475名	514名	511名	293名	255名	400名	466名	459名	403名	373名	
年度末 卒業生数 ⑥	214名	194名	230名	191名	72名	148名	195名	181名	208名	145名	
年度末 累計卒業生数	1770名	1964名	2194名	2385名	2457名	2605名	2800名	2981名	3189名	3334名	
聴講生数 ⑦	143名	143名	131名	144名	144名	77名	102名	280名	292名	362名	
総受講者数 (教養課程+専門課程 +聴講生) ⑧=③+④+⑦	618名	657名	642名	437名	399名	477名	568名	739名	695名	735名	

		平成26年度	27	28	29	30	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
課程数等		教養課程 2	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2	教養 2
		専門課程 4	専門 3	専門 3	専門 3	専門 3	専門 3	専門 3	専門 3	専門 3
		社会生活科	社会生活	社会生活	社会生活	社会生活	社会生活	社会生活	社会生活	社会生活
		健康福祉科	健康福祉	健康福祉	健康福祉	健康福祉	健康福祉	健康福祉	健康福祉	健康福祉
		文化科 文学科	文化文学	文化文学	文化文学	文化文学	文化文学	文化文学	文化文学	文化文学
新規入学	募集定員 (①)	300名	300名	300名	300名	300名	300名	300名	160名※1	160名
	応募者数 (②)	326名	242名	256名	188名	238名	180名	182名	208名※2	184名
	入学決定者数 (教養課程 の人数) (③)	316名	235名	251名	188名	238名	180名	182名	139名※3	160名
専門課程進級者数 (専門課程の人数) (④)		174名	243名	211名	215名	163名	185名	138名	97名	129名
受講者数 (教養課程+専門課程) (⑤=③+④)		490名	478名	462名	403名	401名	365名	320名	236名	289名
年度末 卒業者数 (⑥)		165名	220名	198名	200名	149名	170名		88名	
年度末 卒業者延べ数		3499名	3719名	3917名	4117名	4266名	4436名		4524名	
聴講生数 (⑦)		377名	207名	214名	230名	287名	260名	240名	226名	111名
総受講者数 (教養課程+専門課程 +聴講生) (⑧=③+④+⑦)		867名	685名	676名	633名	688名	625名	560名	462名	400名

※1 令和2年度の入学決定者を優先したため、160名のうち、新規募集は29名となった。

※2 208名のうち、令和2年度の入学決定者が131名、令和3年度の応募者が77名となっている。

※3 定員の160名で受入れたが、受講前に21名がキャンセルしたため、139名となっている。


## 2 板橋グリーンカレッジ大学院

	平成15年度	16	17	18	19	20	21	22	23
コース等		文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉	文化文学 社会生活	文化 文学 健康福祉 社会生活	文化 文学 健康福祉 社会生活	文化 文学 健康福祉 社会生活
募集定員	40名	120名	120名	120名	80名	80名	200名	200名	160名
応募者数	120名	105名	67名	120名	100名	84名	96名	87名	87名
入学決定者数	40名	105名	67名	120名	80名	76名	95名	85名	72名
受講者数	40名	105名	67名	120名	73名	70名	87名	84名	72名
卒業者数	40名	100名	49名	99名	58名	62名	73名	63名	63名
累計卒業者数	40名	140名	189名	288名	346名	408名	481名	544名	607名

	24	25	26	27	28	29	30	令和元年度	令和2年度
コース等	文化 文学 健康福祉 社会生活	文化 文学 健康福祉	文化 文学 健康福祉	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活
募集定員	160名	90名	90名	90名	90名	90名	90名	90名	90名
応募者数	91名	72名	58名	75名	107名	91名	108名	84名	72名
入学決定者数	91名	72名	55名	73名	107名	78名	90名	81名	71名
受講者数	91名	71名	53名	66名	104名	72名	84名	76名	64名
卒業者数	82名	59名	49名	55名	94名	64名	80名	67名	54名
累計卒業者数	689名	748名	797名	852名	946名	1010名	1090名	1157名	1211名

	令和3年度	令和4年度
コース等	文化文学 健康福祉 社会生活	文化文学 健康福祉 社会生活
募集定員	75名	90名
応募者数	42名	54名
入学決定者数	41名※1	54名
受講者数	41名	54名
卒業者数	36名	
累計卒業者数	1247名	

※1 受講前に1名がキャンセルしたため、41名となっている。



令和4年度後期  
板橋グリーンカレッジ  
講義概要

# 令和4年度 板橋グリーンカレッジ 教養課程（後期） 講義概要

ねらい:1年目の教養課程では、仲間づくりや地域活動、生涯学習を促進する多様なテーマについて学びます。

日程:原則として、各回金曜日 ※年間 18 回(前期:8 回、後期:10 回)

【午前コース】10時から11時30分まで 【午後コース】14時から15時30分まで

※第16回のみ、【午前コース】10時から12時まで 【午後コース】14時から16時まで

会場:グリーンカレッジホール シニア学習プラザ(志村3-32-6)3階 教室1 ほか

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9回) <b>9月9日</b></p> <p>日本女子大学 家政学部住居学科 一級建築士</p> <p>うえだ みずよ 植田 瑞昌</p>	<p><b>住み慣れたまち「いたばし」に暮らし続けるために</b></p> <p>あなたの住まいは、年を重ねても介護が必要になっても暮らしやすいと思いますか？</p> <p>加齢に伴い、身体機能が低下するとこれまで住んでいた住宅やまちが住みづらく感じる場合があります。この要因のひとつに、古くからある日本の木造住宅の構造や気候・文化などがあげられます。</p> <p>この講義では「建築」や「まち」をテーマとして、その歴史的な変遷をたどりながら、ご自身もご家族も暮らしやすくなるためのちょっとした工夫や考え方をご紹介します。</p> <p>誰もが住み慣れた地域に心地よく暮らし続けるためにできることを、一緒に考えましょう。</p>	<p>ご自身やご家族にとって暮らしやすい「住まい」や「地域」にするための手法を理解することができます。</p>
<p>(第10回) <b>9月16日</b></p> <p>NPO法人日本万華鏡セラピー協会 会長</p> <p>しまざき かつのぶ 島崎 勝信</p>	<p><b>認知症にならない為に。それには感動することを忘れない。</b></p> <p>「認知症は物忘れからでなく、感動が薄れた時から始まる。万華鏡は感動を得るアイテムとして最適です。」と当協会の医学博士川村賢司氏が仰っています。使っている脳は死なないが使わない脳は死んで行く。感動もしない生活を送っていると感動の脳は死んでしまう。ではいつ頃から感動しなくなってしまうのか、どうしたら感動できるのか、万華鏡によって感動し、救われた人の話等を、笑いを交えて楽しく講義します。又右脳と左脳をバランスよく使う大切さ、特に右脳には常に自ら刺激を与えないとならない事等を、体験等を交えて右脳の大切な役割をお話します。</p>	<p>周りに迷惑をかけないで人生を過ごすために、身体の中で一番守らなければならないのは脳です。脳は肉体と精神の指令塔です。この脳細胞を守る知識を身に付けます。</p>
<p>(第11回) <b>10月7日</b></p> <p>明治安田生命保険 相互会社池袋支社 教育・育成課長</p> <p>ごちよう ちえ 牛腸 知江</p>	<p><b>基礎から学ぶ相続対策</b></p> <p>①相続の基本についての解説 相続税の仕組み、基礎控除、納税について等々を解説致します。</p> <p>②「争族」回避のポイント 相続(そうぞく)が争族(そうぞく)を生む危険性、いまからできる争族対策を学べます。</p> <p>③最適な「MYライフ&amp;エンディング」を考えよう ライフ&amp;エンディングノートを活用してご自身の想いの実現を考えます。</p>	<p>①ご自身の相続財産と相続税の基礎について学べます。 ②相続による遺族間の争い(争族)の事例や対策のポイントを学べます。 ③家族に託したいもの、残したいもの等記録の仕方を学べます。</p>



実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第12回) <b>10月14日</b></p> <p>古典文学研究家</p> <p>やまだ きみこ 山田 喜美子</p>	<p><b>「徒然草」に描かれた鎌倉武士</b></p> <p>「徒然草」の作者兼好法師は、京都人ながら、鎌倉幕府の重臣に仕え、何度も鎌倉及び金沢(かねさわ、現横浜市金沢区)に赴き、滞在しています。そこで彼が見聞したエピソードを通して、兼好の鎌倉に対する意識を探ります。</p> <p>鎌倉幕府の中枢にいた北条時頼や安達一族に対する好意的な視線と、東国の風俗に対する差別的意識の共存が興味深いと言えます。</p>	<p>今話題の鎌倉政権の入り組んだ人間関係を整理することで、歴史上の人物のキャラクターが理解しやすくなります。</p>
<p>(第13回) <b>11月18日</b></p> <p>東京大学史料編纂所准教授</p> <p>かねこ ひらく 金子 拓</p>	<p><b>長篠の戦いと徳川家康</b></p> <p>天正3年(1575)5月21日、三河国設楽原(現愛知県新城市)において、織田信長・徳川家康連合軍と武田勝頼軍が激突し、鉄砲を効果的に用いた織田・徳川軍が武田軍に大勝したのが長篠の戦いです。最近研究が進み、従来とは違った見方がなされるようになりました。来年の大河ドラマにて徳川家康が主人公となるにあたり、この長篠の戦いが家康にとってどんな意味を持ったのか、このときの家康および徳川軍の行動に注目しつつ、史料を読みながら長篠の戦いについて話をいたします。</p>	<p>長篠の戦いに関する歴史像について、史料を読むことにより自分なりのイメージをつかめるようにします。</p>
<p>(第14回) <b>12月2日</b></p> <p>東京家政大学准教授</p> <p>ひらの じゅんこ 平野 順子</p>	<p><b>ジェンダーって何? ～家庭・職場・地域でのモヤモヤの正体～</b></p> <p>周りの人の言動で、モヤモヤすることはありますか? また、自分の考え方や行動で、本当はそうは思わないけど、周りの人の顔色を見てそれに合わせてしまうことはありますか? そのモヤモヤに、ジェンダーの視点で考えてみましょう</p>	<p>①ジェンダー/男女平等についての知識を得ます。 ②自分自身の思いを他者に伝える力を身に着けます。</p>
<p>(第15回) <b>12月16日</b></p> <p>東京家政大学准教授</p> <p>まつおか ようこ 松岡 洋子</p>	<p><b>介護保険を、グローバルな視点でローカルに考える</b></p> <p>ヨーロッパの「高福祉国」では、「できないこと」に対して制度サービス提供するやり方から、その人の well-being(幸せ)に焦点を当てて地域資源で解決していく手法へと大きくパラダイムシフトしています。日本でも、「地域包括ケア」におけるボランティア活用など同じ方向にあります。豊かに生きること、介護の問題をグローバルな視点でローカルに考えてみませんか。</p>	<p>日本も海外における最新動向と同じ方向にあることに触れ、健康や介護の問題を「わが事」「地域」「社会参加」の課題として考え行動していくきっかけが得られます。</p>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第16回) <b>1月20日</b></p> <p>教育科学館 科学指導員</p> <p>★会場について 詳細は4頁参照</p>	<p><b>天文学のすすめ ～星空を見上げてみませんか～</b></p> <p>街明かりのある板橋でも天体観測を楽しむことができることを知っていますか？プラネタリウムでは、星空を見ながらその時季に見られる星座の星の探し方や星座にまつわる神話を紹介します。また、天文学の世界では、毎年のように新しい発見があり、情報が更新されていきます。講義では、現時点でわかっている宇宙や天体の情報などについて解説します。</p>	<p>①夜空を見上げる楽しさを味わい、星座を探す能力を身につけます。</p> <p>②現時点で解明されている事をもとに、私たちが暮らす世界について理解を深めます。</p>
<p>(第17回) <b>2月10日</b> (第18回) <b>2月17日</b></p> <p>駿河台大学 メディア情報学部 教授</p> <p>のむら まさひろ 野村 正弘</p>	<p><b>生命と地球の共進化 –過去から未来を推定する–</b></p> <p>私たち人類をはじめとする生命は、地球上で生まれ進化してきました。近年、地球の変動と生命の進化は密接に関係しており、個別に論ずることではすべてが理解できないことが分かってきました。そこで、最新の生命進化を含めた総合的な地球変動のシステムを理解していきます。その上で、「我々はどこから来たのか我々は何者か我々はどこへ行くのか」という問に対する解答をして見たいと思います。</p>	<p>過去を科学することから得られた法則性を適応すれば、科学的な未来予測が可能なことを理解していただきます。</p>

-----

【後期受講に当たっての注意事項】

- 1 やむを得ない事情により、日程及び講座テーマを変更することがあります。
- 2 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。
- 3 講義でテキストを用いる際などは、受講料以外の実費をご負担いただく場合があります。
- 4 住所等が変更になる場合は、必ず下記までご連絡ください。

(板橋区教育委員会事務局生涯学習課社会教育推進係 グリーンカレッジ担当 電話 3579-2633)

## 第 16 回講義の実施日と実施場所についてのお知らせ

第 16 回講義は、板橋区立教育科学館にてプラネタリウムの鑑賞を交えて行います。通常の講義と異なりますので、お間違えのないようご注意ください。

### 「天文学のすすめ ～星空を見上げてみませんか～」

日 に ち： 1 月 20 日（金曜日）

会 場： 板橋区立教育科学館（板橋区常盤台 4 - 1 4 - 1）

集 合 時 間： 午前コース 9 時 50 分 午後コース 13 時 50 分

講 義 時 間： 午前コース 10 時～12 時

午後コース 14 時～16 時

集 合 場 所： **常盤台地域センター レクリエーションホール**

※入り口は教育科学館の裏手にあります。プラネタリウム会場と集合場所が異なりますのでご注意ください。

### ——アクセス——

#### 電車でお越しの場合

◆東武東上線 上板橋駅北口下車 徒歩 5 分

#### バスでお越しの場合

◆志村三丁目駅方面から

国際興業バス **常 01** ときわ台駅行き

常盤台四丁目下車 徒歩 3 分

※ときわ台駅から常 01 系統に乗車の場合、  
教育科学館下車 目の前

◆王子駅方面から

国際興業バス **王 54** 上板橋駅行き

教育科学館下車 目の前



※駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

**プラネタリウム上映中は、途中入室ができません。遅刻した場合は、  
プラネタリウムをご覧いただくことができませんので、ご注意ください。**

# 令和4年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

## 【文化文学コース】

ねらい: 様々な文化や文学について理解を深め、自己の教養向上をめざす。

日程: 原則として、各回木曜日 14:00 から 15:30 まで

会場: グリーンカレッジホール シニア学習プラザ(志村3-32-6)3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9～10回)  <b>9月22日</b>  <b>9月29日</b></p> <p>跡見学園女子大学            文学部教授</p> <p>まつい しんいちろう            松井 慎一郎</p>	<p><b>「大正デモクラット」が描いた理想的な社会</b></p> <p>明治末期から昭和初期にかけて「大正デモクラット」と呼ばれる新しいタイプの思想家が現れるようになりました。彼らは、いかに生きるべきかという哲学的課題に取り組みながら、現実社会の問題にも関心を持ち、理想的な社会の構築を目指して、建設的な意見を積極的に展開していきました。ここでは代表的な思想家4人を取り上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●9月22日: 吉野作造の国際民主主義と石橋湛山の小日本主義</li> <li>●9月29日: 土田杏村の文化主義と河合栄治郎の理想主義的社会主義</li> </ul>	<p>過去の思想家を学ぶことで、コロナ禍やウクライナ紛争など先行きの見えない時代を乗り越えるヒントを得られるのではないかと思います。</p>
<p>(第11～14回)  <b>10月20日</b>  <b>10月27日</b>  <b>11月10日</b>  <b>11月17日</b></p> <p>日本工業大学            名誉教授・            波多野純建築設計室            代表</p> <p>はたの じゅん            波多野 純</p>	<p><b>板橋から江戸・東京が見える—建築の歴史を中心に—</b></p> <p>板橋は、江戸四宿のひとつ中山道板橋宿として栄え、加賀藩下屋敷もおかれました。近郊農村としても重要な地域であり、旧粕谷家住宅は江戸時代の民家として貴重な存在です。近代以降も、常盤台住宅地をはじめ魅力的な発展を遂げています。区内の残る歴史的な建築を通して、江戸そして東京の歴史を考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●10月20日: 江戸の都市構造と大名屋敷—安養院への道</li> <li>●10月27日: 板橋宿の江戸から近代—板五米店を分析する</li> <li>●11月10日: 民家の建築と暮らし—旧粕谷家・旧田中家の魅力</li> <li>●11月17日: モダニズムと近代和風建築—常盤台住宅地の先駆性</li> </ul>	<p>歴史的な建築のどこに着目すればよいか。それが分かると、町歩きが楽しくなります。</p>

<裏面あり>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第15回) <b>12月1日</b></p> <p>板橋区立教育科学館 事業企画課研究員</p> <p>やまはた つよし 山端 健志</p>	<p><b>人力移動映画館からみる映像の領分</b></p> <p>映画が登場した約百年前、電気のない広場でも太陽光を使った人力移動映画館によって映画は親しまれていました。本講座では、人力移動映画に関する要素から視覚装置の歴史的変遷とその受容を物証し、今日に至るまでの映像文化史を楽しく深めていきます。</p>	<p>コミュニケーションの原理原則である「見せ伝えること」の古今を知ることで映像文化が身近なものとなり、より一層「知ること」が楽しくなります。</p>
<p>(第16～18回) <b>2月2日</b> <b>2月9日</b> <b>2月16日</b></p> <p>早稲田大学・法政大学兼任講師、 英米演劇・映画研究者</p> <p>ひろかわ おさむ 広川 治</p>	<p><b>シェイクスピア劇の世界</b> <b>～The Evil That Men Do(人間が行う悪)～</b></p> <p>シェイクスピアが創造した悪のキャラクター(villain)に着目し、どのような所業が描かれているか、そして舞台や映画でどのように演出され、演じられてきたか、上演史、映画史的観点からも考察します。作品は、翻訳の一部を朗読しながら解説する予定です。</p> <p>●2月2日：『リチャード三世』(Richard III) 親族を亡き者にして王冠を狙う英国史劇の主人公、グロスター公リチャードを取り上げます。</p> <p>●2月9日：『オセロー』(Othello) 主人公の将軍オセローに、あなたの妻が浮気をしていると偽の情報を流す副官のイアゴー、およびオセローの嫉妬の悲劇について考察します。</p> <p>●2月16日：『マクベス』(Macbeth) 罪の意識が最も重く描かれている作品の主人公マクベスとマクベス夫人の台詞や場面に注目します。</p>	<p>シェイクスピアの作品を通じて、舞台や映画に関する視野を広げ、人間理解を深めます。</p>

**【注意事項】**

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。卒業レポートの提出期間は、**11月1日(火)～12月1日(木)**です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
  - 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
  - 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。
- (板橋区教育委員会事務局生涯学習課社会教育推進係 グリーンカレッジ担当 電話 3579-2633)

# 令和4年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

## 【社会生活コース】

ねらい: 社会に関わる様々な事象について学び、社会や生き方を見つめ直すヒントを得る。

日程: 原則として、各回月曜日 14:00 から 15:30 まで

会場: グリーンカレッジホール シニア学習プラザ(志村3-32-6)3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9～11回)  <b>10月31日</b>  <b>11月7日</b>  <b>11月14日</b></p> <p>東洋大学副学長            法学部法律学科教授・            弁護士</p> <p>はやかわ かずひろ  <b>早川 和弘</b></p>	<p><b>法を知って自分を守ろう！</b></p> <p>「法」には、難しそう、堅苦しそうといったイメージがあるようです。しかし、法は、私たちの日々の生活で生じたトラブルを防ぐために、先人が作り出したものです。「どんなトラブルがあったのか」を理解すると、条文は生き生きと語りだします。条文が何を語っているのか、一緒に紐解いていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●10月31日: 法的思考の基礎知識</li> <li>●11月7日: 私法で自分を守ろう！</li> <li>●11月14日: 公法で自分を守ろう！</li> </ul>	<p>法に関する基本的な事項を理解し、身の回りや社会で発生している様々な問題を、法的視点から捉える能力を身につけます。</p>
<p>(第12～13回)  <b>11月21日</b>  <b>12月19日</b></p> <p>渋沢史料館            館長</p> <p>くわばら こういち  <b>桑原 功一</b></p>	<p><b>渋沢栄一の生き方①</b></p> <p>渋沢栄一は、日本に近代的経済社会の基礎を築いた人物といわれています。数多くの株式会社の設立・育成に関わり、経済人としてのイメージが強いですが、教育や福祉など社会公共事業、民間外交にも中心的に尽力しています。そうした幅広い実践活動は、どのような考えをもとに行われたのか、栄一の生き方について探ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●11月21日: 青年期に渋沢栄一がどのように志をたてたのかについてみてみます。</li> <li>●12月19日: 渋沢栄一の「論語と算盤」の考えとその意義を探ります。</li> </ul>	<p>近代日本の変革期における渋沢栄一の生き方を学び、変化が激しい現代社会に生きる自分をとりまく課題解決のヒントを得ます。</p>

<裏面あり>

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第14～16回)  <b>1月16日</b>  <b>1月30日</b>  <b>2月20日</b></p> <p>東京都立大学  都市環境学部教授</p> <p>いさご のぶはる  砂金 伸治</p>	<p><b>私たちの生活とトンネル・地下空間</b></p> <p>日本は国土が狭く平地が少ないことから、地下空間を有効に利用することが求められており、その解決法のひとつとしてトンネル技術が発展してきました。本講座では我が国の地盤に合わせたトンネルの構造や施工法、また、その利用を支えているさまざまな理論や技術の紹介を通じて、世界最高水準といわれる我が国のトンネル技術と社会生活との関わりを考えていきましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1月16日：トンネルの基礎</li> <li>●1月30日：トンネルを調べる・作る</li> <li>●2月20日：トンネルを使う・守る</li> </ul>	<p>地盤や構造等の理解を通じて、身近な現象を工学的な視点から捉える能力を習得します。</p>
<p>(第17～18回)  <b>2月27日</b>  <b>3月13日</b></p> <p>渋沢史料館  館長</p> <p>くわばら こういち  桑原 功一</p>	<p><b>渋沢栄一の生き方②</b></p> <p>渋沢栄一は、日本に近代的経済社会の基礎を築いた人物といわれています。数多くの株式会社の設立・育成に関わり、経済人としてのイメージが強いですが、教育や福祉など社会公共事業、民間外交にも中心的に尽力しています。そうした幅広い実践活動は、どのような考えをもとに行われたのか、栄一の生き方について探ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2月27日：渋沢栄一の企業活動を通して「論語と算盤」の考えをみてみます。</li> <li>●3月13日：社会公共事業活動を中心に渋沢栄一がめざした社会について探ります。</li> </ul>	<p>近代日本の変革期における渋沢栄一の生き方を学び、変化が激しい現代社会に生きる自分をとりまく課題解決のヒントを得ます。</p>

**【注意事項】**

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。卒業レポートの提出期間は、11月1日(火)～12月19日(月)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後にご出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。  
(板橋区教育委員会事務局生涯学習課社会教育推進係 グリーンカレッジ担当 電話 3579-2633)

# 令和4年度 板橋グリーンカレッジ 専門課程（後期）講義概要

## 【健康福祉コース】

ねらい:健康寿命を延ばし、心身ともにいきいきと過ごすための秘訣を学ぶ。

日程:原則として、各回水曜日 14:00 から 15:30 まで

会場:グリーンカレッジホール シニア学習プラザ(志村3-32-6)3階 教室1

実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第9～11回)  <b>9月14日</b>  <b>9月21日</b>  <b>9月28日</b></p> <p>アールキューブ株式会社                      あんしんネット事業部長</p> <p>いしみ よしのり                      石見 良教</p>	<p><b>シニア世代のモノとココロの整理術</b></p> <p>シニア世代の方が、地域の中でより良い人生を過ごせるように、まずは終活を考えていただき、その実践として行なうべき身の回りの環境整理について整理のプロがアドバイスいたします。また現代社会が抱える孤独死問題やゴミ問題を、実際の整理現場の視線で伝え、聴講者と共に解決の糸口(見守り活動)を見つけていきたいと思ひます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●9月14日:終活を考える(エンディングノートのススメ)</li> <li>●9月21日:今すぐ始める生前整理 (元気な時に始める生前整理のススメ)</li> <li>●9月28日:シニア世代のゴミ問題(孤独死をなくすために)</li> </ul>	<p>講座を通じて、物の整理と心の整理を、まずは自分のこととしてとらえて実践していただきます。また見守り活動にも注視してもらいます。</p>
<p>(第12回)  <b>10月12日</b></p> <p>管理栄養士</p> <p>きくち じゅんこ                      菊池 淳子</p>	<p><b>上手に食べて元気にいきいき</b></p> <p>毎日、何気なく摂っている食事を確認し、問題点や注意点を把握します。「メタボ予防」から「フレイル予防」へ・・・シニア世代が気をつけたい食事の摂り方を見直しながら、健康長寿のへ向けた食生活について考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●10月12日:「低栄養」って知っていますか？</li> </ul>	<p>手軽にバランス良い食事を整えるための工夫学び、実践する力を身に付けます。</p>

<裏面あり>



実施日・講師	テーマ・講義内容	講座の効果
<p>(第13～14回)  <b>10月26日</b>  <b>11月30日</b></p> <p>イムス板橋リハビリテーション病院院長</p> <p>しゅば まさなお            渋谷 正直</p>	<p><b>ロコモティブ症候群を考える</b></p> <p>医学の進歩で寿命は延びても、寝たきりでは残念です。大切なのは健康寿命、すなわち介助を必要としない生活が出来、過ごせることです。血圧、コレステロール、血糖の重要性は知られていますが、これらは元気に高齢を迎えるための指標です。元気に高齢を迎えることが出来た者には、骨、筋肉、関節が大事なので、運動器全般の講義をします。</p> <p>●10月26日：生物としての生命とロコモの理解、骨、筋肉、関節の生理を学びます。            ●11月30日： 同上</p>	<p>メタボは国民に周知されていますが、ロコモについても知られるようになってきました。自立した生活維持のため、骨、筋肉、関節の生理学をまじえて学びます。</p>
<p>(第15～18回)  <b>12月7日</b>  <b>12月14日</b>  <b>1月25日</b>  <b>2月1日</b></p> <p>NPO 法人健幸とまちづくり研究所理事長</p> <p>そのだ せきや            園田 碩哉</p>	<p><b>コロナ後の暮らしと健康づくりのデザイン</b></p> <p>コロナ禍によって生活が分断され、地域のつながりも弱くなった中で、身体と心の健康をどのように維持・発展させていけばよいでしょうか。健康についての発想転換を進め、「楽しさ」を土台とする「健幸」づくりの具体策をコミュニティ活動と関連づけながら考えて行きます。</p> <p>●12月7日：「健康である」とはどういうことか            ●12月14日：3つの健康－カラダとココロと人間関係            ●1月25日：健康づくりをまちづくりとつなげる            ●2月1日：生き生きと生きるための私の健康プラン</p>	<p>「健康」についての常識を乗り越えて、新しい健康観を持つことができます。毎日の生活が楽しくなるようなアイデアやスキル(技術)が得られます。</p>

**【注意事項】**

- 1 入学2年目の方は、講座の受講のほかに、卒業レポートを提出していただく必要があります。卒業レポートの提出期間は、11月1日(火)～12月7日(水)です。詳細は、「卒業レポート」提出のお願いをご覧ください。
- 2 やむを得ない事情により、日程、講座テーマ、場所を変更することがあります。
- 3 長期欠席の後に出席される場合は、下記まで日程の変更の有無をご確認ください。  
 (板橋区教育委員会事務局生涯学習課社会教育推進係 グリーンカレッジ担当 電話 3579-2633)

# 板橋グリーンカレッジ運営協議会運営要綱

(令和4年3月30日教育長決定)

(設置)

**第1条** 板橋区高齢者大学校及び板橋グリーンカレッジ大学院の事業の円滑な運営を図るため、板橋グリーンカレッジ運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(協議事項)

**第2条** 協議会は、板橋区高齢者大学校及び板橋グリーンカレッジ大学院に関する次の各号に掲げる事項について協議するものとする。

- (1) 年間カリキュラム
- (2) 講師選定
- (3) その他運営に関すること。

(構成)

**第3条** 協議会は、次の各号に掲げる者につき、教育委員会が委嘱又は任命する総数10名以下の委員をもって構成する。

- (1) 板橋区内の大学関係者
- (2) 学識経験者
- (3) 区民の代表
- (4) 板橋グリーンカレッジOB会の代表者
- (5) 区職員

(任期)

**第4条** 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、再選を妨げない。

2 委員が欠けたときは、その後任者の任期は、前任者の任期の残存期間とする。

(議長及び副議長)

**第5条** 協議会に議長及び副議長を置く。

2 議長は、委員の互選により選出し、副議長は議長が指名する。

3 議長は、協議会の会務を統括する。

4 副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき又は議長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

**第6条** 協議会は、議長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 議長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(開催)

**第7条** 協議会の開催は、年2回とする。ただし、必要があるときは、臨時に開催することができる。

(報酬)

**第8条** 協議会の委員の報酬の額は、予算の範囲内で別途定める額とする。

(事務局)

**第9条** 協議会の事務局は、教育委員会事務局生涯学習課に置く。

(補則)

**第10条** この要綱で定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、地域教育力担当部長が定める。

付 則

この要綱は、教育長決定の日から施行する。